

令和6年度第1回調布市表彰審査委員会会議要録

日 時 令和6年5月27日（月）

午前10時00分から午前10時55分まで

会 場 調布市役所5階 特別会議室

○ 出席者

【委員】 荻本会長，石原副会長，加藤委員，瀧柳委員，今井委員

【事務局】 総務部長，総務部次長，総務課職員4人

○ 会議内容

1 委員の委嘱について

再任の荻本委員及び加藤委員に長友市長より委嘱状を交付。

2 議題

(1) 会長の選任について

委員の互選により，会長に荻本委員を選任することに決定。

(2) 調布市表彰条例規則による表彰選考基準の一部見直しについて（資料1）

事務局から表彰選考基準の見直し案の概要を説明。

- ・ 特別職功労(7)その他の資格年数を10年に変更
- ・ 技能功労の資格年数を「在勤要件」（市内で15年以上）に修正するとともに在住要件を削除

< 質疑・意見 >

瀧柳委員：推薦依頼先を行政の外部にもっと広く推薦依頼をしてはどうか。

総務課長：広く周知する必要性を感じている。庁外の団体へのさらなる依頼について検討して参りたい。

今井委員：技能功労の推薦は課題。市政功労者表彰を知らない事業者もいる。在勤市民にも広く周知するために各職種の事業組合へのアプローチも検討する必要がある。

荻本会長：同種の団体間でも，推薦量に差があるため，表彰候補者に関する情報を広く収集できるよう行政でも努めてほしい。

基準については事務局と会長に一任いただきたい。

(3) 今後の日程について（資料2・3・4・5）

事務局から今後の日程と内容の説明。

資料5のと通りの日程を進める。

<質疑・意見>

石原副会長：個人で活動していた人で、高齢で活動をやめてしまい、推薦できないことがあった。このようなことを防ぐためにも、推薦依頼先は広げて欲しい。

今井委員：活動中だけではなく活動を終了しているが、基準を満たしている人への表彰ができる基準の検討を。個人を表彰できる柔軟性のある基準の検討を重ねて70周年の表彰に繋げてほしいと考える。

(4) その他

調布市市制施行70周年における表彰について

事務局から説明。

<質疑・意見>

今井委員：昨年は特別功勞でコロナへの対応で多くの団体等を表彰し、感謝の意を伝えられた。

テーマを定めると一つの視座となり、その一つとして60周年時の宣言(芸術、文化、スポーツ)に絡めた基準を設けてはどうか。そこから10年経って、まちのイメージ向上に貢献した人、支えてきた人を、芸術、文化、スポーツの観点から表彰しても良いのではないか。

荻本会長：災害などが発生した場合、行政だけでは対応できない。市民同士の繋がりを表彰の観点とするのも良いのではないか。

石本副会長：調布市は深大寺、映画、味の素スタジアムが全国で知られている。これらに関連した表彰も良いのではないか。

総務課長：感謝状はこれまで、資格年数が市政功勞の基準に及ばない人を対象としていた。昨年度、市政功勞の資格年数を見直したことから、70周年ではテーマを設けて感謝状を贈呈することも一つの案として検討する。

次回予定 8月26日(月) 午前10時～ 市役所5階 特別会議室